

事業コード	0030201	政策コード	04	政策名	秋田の魅力が際立つ人・もの交流拡大戦略																																											
事業名	芸術文化関連事業者緊急支援事業	施策コード	03	施策名	文化の発信力強化と文化による地域の元氣創出																																											
		指標コード	02	施策目標(指標)名	文化団体の活動促進と次代を担う人材の育成																																											
部局名	観光文化スポー	課室名	文化振興課	班名	調整・文化振興班	(tel)	1530	担当課長名	安田 路子	担当者名	野村 桃子																																					
評 価 対 象 事 業 の 内 容																																																
1-1. 事業実施の背景(施策目標の達成のためになぜこの事業が必要であったのか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術活動の中止や延期を余儀なくされている中、活動できない状態が続くアーティストや、その活動を披露するに当たって必要不可欠なステージイベントの運営に関わる事業者の事業継続を可能とし、本県の芸術文化活動の停滞を防ぐ取組が急務である。				5. 前回評価における指摘事項等 指摘事項																																												
1-2. 外部環境の変化及び事業推進上又は完了後に明らかになった問題点 新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せず、これまでと同様のステージイベントを開催することができない状況においては、オンラインを活用した活動の有効性が一般的に認知されるようになった。				指摘事項への対応																																												
2. 住民満足度の状況(事業終了後に把握したもの) 満足度を把握した対象 受益者 一般県民 (時期 : R03年 03月) 満足度の把握方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に 事業終了後の聴き取り) 満足度の状況 採択事業者からは、感染が続く状況においても、関係者と協力した無観客公演の開催、動画配信を実施したことにより、今後の活動において新たな活路を見いだことができた等の意見があった。				6. 事業の内容 事業概要及び推進状況 補助事業の実施を申請した芸術文化活動を行う事業や団体のうち、審査で採択した7事業者が無観客公演の実施及びその動画の配信を実施し、補助金を交付した。																																												
3. 事業目的(どういう状態にしたかったのか) 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催等文化芸術活動が中止や延期を余儀なくされている中、本県の芸術文化への関心と熱意を盛り上げるべく、音楽や伝統芸能等の無観客公演の実施やその動画制作・配信を通じて、芸術文化活動団体等の活動を支援し、地域の活性化を図る。				単位(千円)																																												
4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県 事業の対象者・団体 芸術文化活動を行う事業者及び団体 達成のための手段 有観客公演の開催は当面困難な状況であったことから、無観客公演の開催による動画配信は芸術文化関連事業者等に対する即効性のある支援であるとともに、県民に広く県内の芸術文化活動を知ってもらい、芸術文化への関心と理解を深めてもらうことで県内の芸術文化活動の停滞を防ぐ取組としても有効である。				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業費等</th> <th>当初計画事業費</th> <th>最終事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">内 訳</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">芸術文化関連事業者緊急支援事業</td> <td>15,000</td> <td>14,982</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計</td> <td>15,000</td> <td>14,982</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財源内訳</td> <td>国庫補助金</td> <td>15,000</td> <td>14,982</td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一 般 財 源</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>				事業費等		当初計画事業費	最終事業費	内 訳				芸術文化関連事業者緊急支援事業		15,000	14,982			0	0			0	0			0	0	事業費計		15,000	14,982	財源内訳	国庫補助金	15,000	14,982	県 債	0	0	そ の 他	0	0	一 般 財 源	0	0
事業費等		当初計画事業費	最終事業費																																													
内 訳																																																
芸術文化関連事業者緊急支援事業		15,000	14,982																																													
		0	0																																													
		0	0																																													
		0	0																																													
事業費計		15,000	14,982																																													
財源内訳	国庫補助金	15,000	14,982																																													
	県 債	0	0																																													
	そ の 他	0	0																																													
	一 般 財 源	0	0																																													
				当初計画及び最終の事業費比較 最終事業費 / 当初計画事業費 =(0.99)																																												

7. 事業の効果及び課題の改善状況

7事業者が制作した動画の総視聴回数は、令和3年3月末時点で延べ4万回を超え、うち約2万回については民謡を題材とした動画であり、秋田県の代表的な文化への関心の高さを示す結果となった。また、1公演あたり複数のアーティスト、イベント関連事業者等が各事業に関わっており、活動や事業継続の支援として一定の効果があった。

8. 事業の効果을把握するための手法及び効果の見込み

指標名	補助事業の実施に携わる芸術文化関連事業者及び団体等数								指標の種類
指標式	補助事業対象経費の対象となる芸術文化関連事業者及び団体等数（令和2年度で事業終了）								成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 該当 非該当									
指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体	
目標a	0	0	0	0	0	0	30	30	
実績b	0	0	0	0	0	0	54	54	
b/a							180%	0%	
データ等の出典	文化振興課調べ								
把握する時期	当該年度中 03月		翌年度 月		翌々年度 月				

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる効果） 低減目標指標 該当 非該当									
指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	01年度	02年度	全体	
目標a	0	0	0	0	0	0	0	0	
実績b	0	0	0	0	0	0	0	0	
a/b								0%	
データ等の出典									
把握する時期	当該年度中 月		翌年度 月		翌々年度 月				

指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法

指標を設定することが出来なかった理由

成果（見込まれる効果）

所管課の評価				評価結果	
有効性の観点	住民満足度の状況	a	b	c	A B C
	【b又はcの場合の分析】				
	事業の効果	適用の可否 可 不可			
効率的性の観点	a 達成率100%以上	b 達成率80%以上100%未満	c 達成率80%未満		A 1.0~ B 0.8~ 1.0 C ~0.8
	【b又はcの場合の理由】				
	事業の経済性の妥当性	適用の可否 可 不可			
総合評価	a 1.0~	b 0.8~1.0	c ~0.8		A 1.0~ B 0.8~ 1.0 C ~0.8
	$\left[\frac{\text{事業終了後の効果}}{\text{最終事業費}} \right] / \left[\frac{\text{当初計画時の効果}}{\text{当初計画事業費}} \right] = 1.66$				
	【評価への適用不可、又はb、cの場合の理由】				
補助事業にしたことにより、補助事業者が無観客公演や動画制作に係るより多くのアーティストや事業者が関わることができ、限られた予算で効果を上げることができた。					
A (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い)					
新型コロナウイルスの感染症の影響により、ステージイベントが開催できない文化活動を行う事業者や関連する事業者等にとって、無観客公演の開催・動画配信は今後の活動や事業継続の支援の一端となり得たと考える。また、動画配信による文化発信という新たな手法に対する理解と取組意欲の向上が進み、県内外に秋田県の芸術文化活動への関心を喚起することができた。					
評価結果の類似事業への反映状況等(対応方針)					
政策評価委員会意見					

終了事業事後評価判定点検表

(様式5-1)

(1) 各評価項目の判定基準

観点	評価項目	判定基準	配点	1次	2次	評価結果	
ア有効性	一 住民満足度等の状況	a 住民満足度等を的確に把握しており、満足度も高い	2	2		A:有効性は高い (4点) B:有効性はある (1~3点) C:有効性は低い (0点)	
		b 住民満足度等を把握しているが、手法が的確でない又は満足度が高くない	1				
		c 住民満足度等を把握していない	0				
	二 事業目的の達成状況	a 目標値に対する達成率が全て100%以上	2	2			
		b a、c 以外の場合	1				
		c 目標値に対する達成率のいずれかが80%未満	0				
計			4	4		A	
イ効率性	一 事業の経済性の妥当性	a 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値(注)が全て1.0以上	2	2		A:効率性は高い (2点) B:効率性はある (1点) C:効率性は低い (0点)	
		b a、c 以外の場合	1				
		c 当初計画時と事業終了後の事業効果を比較した値のいずれかが0.8未満	0				
	計			2	2		A

(注) 事業経済性の算定式

$$\left(\text{事業終了後の効果} / \text{最終事業費} \right) / \left(\text{当初計画時の効果} / \text{当初計画時事業費} \right)$$

上式で、効果とは事業の効果を把握するために設定した指標の実績値をいう。なお累積の実績値を設定している場合は、前年度からの差し引きによる「単年度増加分」を実績値として用います。

(2) 総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価	
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A	
B (概ね妥当である)	総合評価結果が「A」又は「C」以外の場合		
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合		